

厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和5年8月23日(水)

開催場所：1・2号委員会室

町立病院

1. 町立病院の管理運営について

令和5年度7月の入院は患者数、診療収入ともに前年実績を上回り、外来は患者数、診療収入ともに前年実績・予算を上回る状況との説明を受けました。

【主な質疑】

委員：入院、外来の一人一日当たりの収入が減少している理由は？

担当：コロナによる診療加算額が減ってきているためと思われます。

委員：収入が予算を大きく上回っている状況ですが、それに伴う医療スタッフの疲弊などはありませんか？

担当：入院の許可病床数120床ですが最大で130床の日もありました。職員も忙しいため、疲弊を軽減するためにコンサルと協議し、病床を効率的に運用するための管理・調整ができるように検討している最中です。

2. 札幌丘珠＝根室中標津線を利用した「地域医療支援」について

医師確保対策としての支援調整により、中標津町とJAL・HAC、三樹会泌尿器科病院の「地域医療支援パートナーシップ連携」の合意、根室振興局管内市町の常勤医師確保に向けた取り組み、物品輸送協力について、説明を受けました。

今件は、JAL・HACより地域課題の解決支援ができないかと本町に提案があり、当町の泌尿器科常勤医の確保に困難している現状解決のため、札幌市から北海道、北海道から医師会（札幌市・北海道）を通じ三樹会泌尿器科病院から医師派遣が決定した経緯があります。

【主な質疑】

委員：常勤医ではありませんが、医師確保のために協力してくれるものですか？

担当：HACで医療支援目的にのみ使用できる航空券「地域医療パスポート」を確保してくれるということです。

委員：費用はHACが100%負担してくれるのですか？

担当：町の負担はないと聞いています。

委員：ANAの便数に影響はありますか？

担当：ANAの減便を心配しましたが、JALとANAの本社同士で調整し、2社が連携したシェア便も全国で始まっています。丘珠空港を管理する札幌市とも協力し組織づくりが進められています。ANAにはこれまで3便から減便となった際にも医師派遣に貢献していただいたため、引き続きお願いしていきたいと思っています。

町民生活部

1. 住民生活・環境衛生事業について（広域バス路線について）

標津線代替バス路線（標津標茶線・中標津線）再編に係る協議状況について、令和5年10月からの再編を目指し、検討を進めているとの報告受けました。

【主な質疑】

委員：0.5便とは片道回送で帰って来るものですか？メリットはありますか？

担当：0.5便とは片道が回送運行となります。回送は実走の3分の1程度経費を減額することが可能となり、広域路線は補助金も交付されます。補助金の関係も検討し再編計画を立てています。

委員：ヨーロッパでは白タクで観光客を乗せることが行われています。本町も白タクやオンデマンド、自動運転バスと新しい発想が必要では？

担当：現状では、赤字路線バスの解消へ無人バス、民間タクシーなどの活力を生かすなど十分な検証に至っていません。交通弱者の解消、中標津にあった新しい考え方も必要だと思いますが、これからの課題です

委員：郡部路線のオンデマンド化などは、まだ決まっていないのでしょうか？

担当：計画策定の中ではヒアリングをもとにタクシーチケット等、新しい可能性を検討していますが、まだ地域は決まっていません。

委員：いつまでに結論を？

担当：本年10月より再編としているため、1日も早くと思っておりますが遅れているのは事実です。減便による利用者の状況、バス事業者の影響等考慮すべき内容を協議し、9月中旬までには報告したいと考えています。

2. 住民生活・環境衛生事業について（合葬墓について）

供養に係る道内の施設整備状況について説明があり、「線香をあげる」「ろうそくを灯す」行為は宗教的行為となるため、線香置やろうそく置、献花台を設置しない旨の報告を受けました。

【主な質疑】

委員：説明の内容は条例で定めるべきです。納骨時の宗教的行為は認められますか？

担当：少数であれば認め、大々的にはできない旨を明記したいと思えます。

委員：現地に使用ルールを表示した看板設置は検討していますか？

担当：看板設置を検討し、発行する許可証にはルール等を明確に記載します。

委員：現地でQRコードを使った埋葬者の氏名表示は可能ですか？

担当：個人情報上の関係上、QRコード表示はしませんが、窓口で理由を記載し申請すると照会できるようにしていく予定です。

委員：墓石の表面に書かれる字はどうなりますか？

担当：現在選定中で候補が決まったら報告します。

委員：中標津墓地の砂利道で発生する砂埃を抑えることを検討して欲しい。